

平成 30 年 11 月 19 日
高齢施策担当部高齢者支援課

平成 30 年度上半期 地域ケア個別会議・地域ケア予防会議の実施結果概要

1 地域ケア個別会議

(1) 目的

個別ケースの検討を通じて、高齢者の課題解決を支援するとともに、課題解決に向けた社会資源の把握や地域包括支援ネットワークの構築を図る。

(2) 実施回数

187 回 ※25 か所の地域包括支援センターで実施した数の合計

(3) 主な参加者

本人、家族、民生委員、医師、病院相談員、担当の介護支援専門員、社会福祉協議会、介護サービス事業者、障害サービス事業者、保健相談所、生活保護ケースワーカー、地域包括支援センター等

(4) 主な検討事項

- ・ 認知症高齢者の金銭管理と成年後見制度の利用に向けた支援
- ・ 認知症高齢者と精神疾患のある家族への支援
- ・ 65 歳到達により障害サービスから介護保険サービスへの移行
- ・ アルコール依存や認知症状がみられる独居高齢者の在宅生活支援
- ・ 難病を持つ高齢者と介護者の在宅生活支援
- ・ 短期記憶の低下や物盗られ妄想のある高齢者への支援

2 地域ケア予防会議

(1) 目的

多職種協働により個別ケースを検討し、自立支援・重度化防止に資するケアマネジメントの実施を支援する。

(2) 実施回数

25 回 ※25 か所の地域包括支援センターで 1 回ずつ実施

(3) 主な参加者

理学療法士、保健師、管理栄養士、歯科衛生士、主任介護支援専門員、担当の介護支援専門員、介護サービス事業者、地域包括支援センター等

(4) 主な検討事例

- ・ ケアプランにおける具体的な目標の設定や目標の見直し
- ・ 転倒を防ぐための自宅の環境整備
- ・ 通所サービスの利用状況とその効果
- ・ 運動機能の維持および歩行距離を伸ばすための支援
- ・ 総合事業のサービスを卒業（自立）した後の受け皿
- ・ 低栄養を予防するための食事内容や嚥下機能の改善